

## 情報満載！ かながわ福祉人材センターが新しくなりました！



1階から3階へ  
移転して、スベ  
ースゆったり！

広々とした「閲覧室」と福祉の職場の概要を調べることができる「求人施設資料コーナー」（写真左・中央）。じっくりと相談ができる求人専用の相談窓口（写真右）。

※求人は、1人1日2件までご紹介できるようになりました

### 法人・施設からの「求人情報」募集！

「福祉の職場で働きたい！」という皆様に応える「求人情報」をお待ちしております。人材センターでは、就職までの様々な支援を行っています。

例えば…「数日間の試用期間（研修を含む）の後採用したい」（福祉の職場体験制度）  
例えば…「産休する職員の替わりが欲しい」（産休代替等の短期雇用制度）

◎所在地：横浜市神奈川区沢渡4-2 県社会福祉会館3階（JR横浜駅下車徒歩15分）

◎電話：045-311-1428 FAX：045-313-4590

◎開所日：月曜日～金曜日 9時～17時 第2・4土曜日 10時～15時



## 読者の声

— みんなで老後の受け皿作り —

やがて自分も迎えるであろう「老後」。

ところが、「老後は金なり」と嫌な時代にもなっている。

最近老人ホームや老人専門病院、老人保健施設等が、やたらと多く建設されている。

老後の介護への専門知識の必要性や核家族化、共働き家庭、手に負えない痴呆などの病気等々、様々な背景が、建設ラッシュへと結びつけているのであろう。

確かに、必要な施設なんだろうと思う。しかし果たして、何が何でも施設に入らなければならぬのだろうか？と疑問を抱くことがある。

今や、どこの施設も満床の状況にある。利用申込者は、順番待ちの状態にあるが、順番を待つことができる位なら、何とか在宅で面倒をみることはできないものかとも思う。

これからも、高齢化社会は進むであろう。

介護する家庭にも、限界がある。また、受け入れる施設にも限界がある。介護は、当然まず家庭から隣近所、地域職場、社会等が連帯をもって、介護の輪を、助け合いの輪を広げ進めて行かなければ、月並みに言う「明るい社会」というものは展開されていかないのではないか。

今日の、豊かな社会を作り上げてくださった大先輩、「お年寄り」の老後を決して、粗末にしてはならない。

従って、学校教育の中にも、感謝の気持ちを持たせる意味において、小さい時から、十分な福祉の科目を取り入れて行くべきだろうと思う。

お金で、全て事が片づけられてしまうようなことだけは、避けなければならぬ。

（田中良平）

### ▶ 投稿をお寄せください ◀

「福祉について思うこと」をテーマにした投稿をお待ちしています。他のテーマや本紙内容へのご意見ご感想でも結構です。分量は700字程度。匿名でも結構です。



郵送：〒221-0844  
横浜市神奈川区沢渡4-2  
FAX：045-312-6302  
Mail：kikaku@jinsyakyo.or.jp  
いずれも「県社協企画課タイムズ係」と明記のこと